



# ほっかいどう 生涯学習 Lifelong Learning

ホームページアドレス <http://www.hsgk.jp>

## 新しい自分との

## 出会いや発見がきっとある



生きがいきづくり生涯学習促進事業  
(十勝会場)

地域視聴覚制作  
研修講座  
(札幌大学にて)



## 目次

- 道民カレッジ開講一周年…………… 2
- 「生涯学習ボランティアスタッフ  
自主企画事業」に参加して…………… 4
- 平成十四年度青少年自然体験活動指導者  
養成事業（夏季）実施…………… 3
- 生きがいきづくり生涯学習促進事業…………… 5
- 生涯学習ボランティアスタッフ  
自主企画事業…………… 4
- 「まなびの広場」展示のご紹介…………… 6
- 事務局からのお願い・新会員紹介…………… 6

## 道民カレッジ開講一周年

「学びたいという意思」を唯一の入学資格とし、「いつでも、どこでも、学ぶことができる」生涯学習の学園道民カレッジが開講して九月で一年が経ちました。

道民カレッジは、北海道の産学官が連携して、道内各市町村で行われている様々な学習機会を体系化することにより、道民が自らの意思によって学び、自立した北海道の創造に寄与する人材を育成することを目的としています。

二十一世紀は、価値観やライフスタイルが多様化し、健康や暮らしの安全、心の豊かさを重視する時代であり、お互いの生き方が調和し共鳴しあう「響生」の考え方が求められております。

このためには、人と人とのかわりだけでなく、自然や生き物とのかかわりも大切に、支え合っていくことで私たちの営みが成り立っていることを自覚しながら、自分の考え方をしっかりと持ち続けることが大切です。

このようなことから、道民一人ひとりが「道民カレッジ」を通してこのような考え方を共有し、これまで培ってきた知恵と経験をさらに高められ、「北のくにづくり」に活かされることが望まれております。

### ◎道民カレッジ学士第一号誕生

道民カレッジに第一号の学士が誕生しました。

学士取得を果たしたのは、函館市在住のバスガイド森幸子さんです。

森さんは、仕事の合間をぬって、函館市で行われている簿記など資格取得につながる能力開発コースの講座や文学などの教養講座を受講し、学士取得に必要な一〇〇単位を取得しました。

七月八日に道庁知事応接室で道民カレッジ学長の堀達也北海道知事から森さんに学士認定証が授与されました。

森さんは、「講義に通う時間を作るのが大変だったけれど、友人もできて楽しかった。

今後もパソコンなど新しい分野に挑戦したい」と次の目標である修士取得に向けて意欲を見せていました。



### ◎大学放送講座放送日程

今年度も昨年度に引き続き道民カレッジ大学放送講座を十月五日土曜日から六回にわたり朝五時から三十分間HBCテレビで放映いたします。

なお、今年度は一月十八日から再放映しますので多くの道民の皆様方に視聴していただき、北海道の人づくり、地域づくりについて学ばれることを期待しております。

十月五日（一月十八日）  
「遺跡保護」と人づくり、地域づくり  
札幌大学 木村 英明教授

十月十二日（一月二十五日）  
「自然景観」と人づくり、地域づくり  
北海道情報大学 井野 智 教授

十月十九日（二月一日）  
「水辺林」と人づくり、地域づくり  
北海道工業大学 柳井 清治教授

十月二十六日（二月八日）  
「水産資源」と人づくり、地域づくり  
北海道東海大学 西山 恒夫教授

十一月二日（二月十五日）  
「子育て」と人づくり、地域づくり  
北海道浅井学園大学 山谷敬三郎教授

十一月九日（二月二十二日）  
「8020運動・健康日本21」と人づくり・地域づくり  
北海道医療大学 平井 敏博教授

※再放映の時間は各回とも午前二時四十分からです。

### ◎大学放送講座スクリーニング開催

道民カレッジでは、大学放送講座の内容をよりいっそう理解していただくとともに講師の先生と受講者の皆様方のコミュニケーションを図ることを目的に、今年度全道十会場（旭川市・厚真町・乙部町・上磯町・釧路市・札幌市・当別町・長沼町・羽幌町・蘭越町）で大学放送講座スクリーニングを開催いたします。

その第一回目となります当別町でのスクリーニングの日程が決まりましたのでお知らせいたします。

日 時 平成十四年十月十八日（金）  
午後六時三十分から

会 場 当別町総合福祉センター  
「ゆとろ」多目的ホール

講 師 北海道情報大学 井野智教授  
テーマ 「自然景観」と人づくり、  
地域づくり

申込 当別町企画課まちづくり  
☎ 一三三二一三三〇七三



# 平成十四年度青少年自然体験活動指導者養成事業(夏季)実施

八月二十二日(木)～九月十五日(日)、道立青少年教育施設ネイパル森、ネイパル足寄、ネイパル砂川の三会場で、青少年の自然体験活動に必要な専門知識と技術を習得する指導者養成事業夏季講座を実施しました。

修了者四十八名に修了証書を授与し、自然体験活動指導者として登録しました。

講座は三泊四日・「野外教育の概論」等二十七時間の日程で、参加者は午前・午後・夜間の強行プログラムを終了しました。

## 参加者の声

○二十代・男・学生

改めて思いました。人間と自然との関わり方、考え方、とらえ方……、自然を心にもった子供たちがふえてくれるような、活動、かたりかけを、教師になれた際に実践してみたいです。

○三十代・男・無職

専門講師の話を知ることができ、新たに習得したことがたくさんありました。特に私自身も初めは緊張していましたが、アイスブレイキングを他の仲間とコミュニケーションがとれ、楽しく四日間を過ごす事ができました。



第1日「野外教育の概論」講義(足寄会場)

までに自分にとって勉強になるのだからと、今回学んだことを生かしてこどもたちの活動を支えていきたいと思っています。

○十代・女・学生

将来教師になりたい私として、今回の参加はとてもよい経験になりました。

とても充実した三泊四日だったと



第1日「体験学習法」実技(森会場)



第2日～第3日グループによるアクティビティ作り(足寄会場)

活かし、自然の良さを一人でも多くの人々に広め、又、自らも向上させたいと思います。

○二十代・男・学生  
冬季に引き続き参加したのですが、一つのアクティビティデザインを作るのに、様々なアイデアを出し合い、討議したこととはとても有意義だったと思います。



第3日アクティビティの実技風景(砂川会場)

将来、指導者として活動したいと思っておりますので、今後も、こういった講習会や事業に積極的に参加したいと考えています。

○二十代・男・公務員

この事業に参加して、職場の中だけでは思いつかないような様々な方の意見をきくことができ、大変参考になりました。これまでは、日々日常の仕事に追われることが多々ありましたが、これからは、一度立ち止まってみたい、振り返って自己を見つめ直す機会を設けたいと思います。



第2日野外炊飯(砂川会場)

また、異年齢の方々のこの事業に対する積極的な姿勢を見習い、今後の仕事に生活にと生かしていきたいと思っています。

○二十代・女・学生

いつも自分が指導者で子どもたちをまとめていましたが、今回、自分が指導を受ける立場に立つことで、改めて子どもたちがどのように感じているのか、どう接すると子どもたちの「頑張ろう!」楽し

い!“という気持ちを引き出すことができるのか気付くことが多くあり、大変勉強になりました。初心にもどりこれからの活動していこうと思います。ありがとうございました。

○二十代・男・学生

たくさんの方の指導員の下で学び経験した四日間は、本当にアツという間でした。

このネイパル砂川で知り合った友人のことは、一生忘れないと思います。

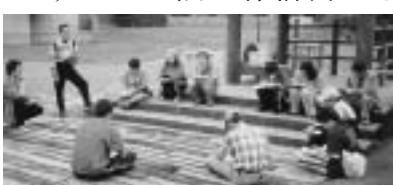
いい仲間巡りに巡り合え学び考えた四日間は最高でした。

○二十代・女・学生

様々な人と出合い活動を共にし、今までにない体験をすることができました。

改めて、自然活動について、考え直す機会となりました。

実際に企画し、発表する活動では、班の仲間と意見を出し合い、試行錯誤を繰り返しながら学ぶことができました。ありがとうございました。



第3日アクティビティ実技後の反省(足寄会場)

冬季講座は次の日程で実施する予定です。

平成十五年二月二十七日(木)

三月二日(日)

ネイパル砂川会場

### 生涯学習ボランティア スタッフ自主企画事業

講演会・分散会 人と自然と語り継ぐこと

この事業は、「生涯学習ボランティア スタッフ」による自主企画事業です。

今日的なテーマを取り上げ、基調講演のあと、分散会を開催し、参加者の皆さんの意見を大いに語っていただくという企画です。

#### ○日時

平成十四年十一月十二日(火)

十時三十分から十五時

#### ○会場

かでの2・7 四階 大会議室

(札幌市中央区北二条西七丁目)

#### ○基調講演

十時三十分から十二時

#### ○分散会

十三時から十五時

#### ○連絡先

財団法人北海道生涯学習協会

TEL 〇一一―二八一―六六六一

### 「生涯学習ボランティアスタッフ

### 自主企画事業」に参加して

昨九月「道民カレッジ」事業がオープンした。北の国づくりという観点から、・自主自立の精神によって新たな道民のFrontier-Diveを育む学園に！と知事学長のご挨拶であった。同十一月には「北海道の人づくり・地域づくり」と放送講座(六回シリーズ)がTV放送されて、とても有意義な内容であった。そして同カレッジに連携して「生涯学習

ボランティアスタッフ自主企画事業」が開催された。初めての試みとされたが、多くの方々の共感と成果を得ることができたのではないだろうか。

あれから一年が過ぎて、カレッジ生は約九五〇名余りに及ぶと伺う。

いま二回目の「生涯学習ボランティアスタッフ自主企画事業」に携わらせていただいている。

事業内容は講演会形式として、先ずテーマ選びから始まる。より斬新に！と事務局からの助言のお言葉が頭を離れない。昨年のテーマ…豊かな心を育むために…につづいて、心を形成していく背景的要素である「家族」

「自然・環境」といった部分に焦点を当てた。今秋、北海道から全国に流れたドラマ「北の国から」最終回」を採りあげ、タイムリーな話題の中から参加者の皆さんと共に語り学びたいものと思う。こうしてボランティアスタッフ一同みんなで意見交換、協議の上ひとつずつ決めていく作業はまさに手作りといえようか。自らの拙い学習力でぶつかって(応用問題ばかり…)いく時の潔さもある。学習を実践活動に移すべく体験の場をいただいていること、実践を学ばせていただいたことに向かって心合わせる仲間たちがいる。

学びの機会が随所に用意されているこのごろ「学び心」はいつだってまぶしい。知らないことを知り得た初々しい感動は、人を謙虚に勇気づけるのではないだろうか。感動は感性を磨くものではないだろうか。どんなに細やかでも、その純な熱き感動を青春と呼ぶなら、生涯青春を讃歌したいものと希う。

北区 国富 和代

「生涯学習ボランティア自主企画講座?なんだこれ?」と思った。

でも、面白そうじゃないか。自主企画だから、自分たちの発想で何か楽しい企画を考えれば良いんだと。

どうせ考えるなら、旬なものが良いんじゃないか。食べ物じゃないけど、講座だって旬なものが良いに決まってると思つたら最後、あくまで旬にこだわり続ける僕。昨年から参加している大先輩達の英知と経験に打ち勝つにはどうしたら良い?

僕はレベルまで引きおろすしかあるまい。昔、テレビのコマーシャルで「レベルはラベル」というのがあったけど、今年の自主企画講座のラベルを見てください。

納得してくれるはず。どっちにつて? さあ、僕には難しすぎる問題です。というところで、生涯学習ボランティア自主企画講座の場を、勝手に自己啓発と自己実現の場にした僕。

これって、ワガママで罪なことか? でも、僕は職場から休暇をとってまで参加しているんだから、許されるのでは。

勝手なことばかり言つてごめんなさい。自主企画講座の同じ仲間の先輩達に謝りつつ、来年も参加したいな、と思つてます。

皆、知つてた? それだけ素晴らしい仲間が、ここに集っているんだよ。

#### 平成14年度

#### 「生涯学習ボランティアスタッフ」

加茂 繁雄	札幌市
国富 和代	札幌市
齋藤 迪子	札幌市
佐々木 礼子	札幌市
鈴木 克己	札幌市
津川 孝	恵庭市
三田 公子	札幌市

恵庭市 津川 孝

### 新着ビデオ紹介

◎視聴覚センターでは、今年も生涯学習にご利用いただくための時代のニーズに即した学習教材(ビデオ)を多数そろえました。

道民の皆さまのご利用をお待ちしています。

#### 【教育・福祉】

『ハンセン病剥奪された人権』

『あすに生きる』 他

#### 【教養】

『春秋戦国英傑伝全二十二巻』

『洪染一揆』 他

#### 【市民生活・国際理解】

『ふれあいの場づくり』

『日本に暮らす新来外国人』 他

#### 【産業・技術】

『情報資産保護の常識全二巻』

『VDT症候群の予防と対策』 他

#### 【学校教育】

『調べ学習ビデオシリーズ全五巻』

『リズムダンス』 他

#### 【家庭生活・趣味】

『応急手当(保育)シリーズ全二巻』

『くらしの羅針盤』 他

#### 【その他】

『FUM効果音集(第五集)』

全三〇六種音CD三枚組

#### お問い合わせ先

【電話】二二二―四一一

(内) 三六一―三四五

# 生きがいづくり

## 生涯学習促進事業

〜人生を共に豊かにすすむために〜

函館会場

九月十四日(土) 函館市民会館を会場に一〇〇名を超える参加者が集まり、生きがいづくり生涯学習促進事業が開催されました。  
当日は、郷土史家の須藤隆仙氏の基調講演と小グループに分かれてのバズセッションが行われました。

### 1. 基調講演

テーマ「歴史が築いた函館のまち、ひと物語」

今年、市制施行八十周年をむかえた函館市で、「歴史が築いた函館のまち、ひと物語」と題しての講演会を開催しました。講師は、郷土史家で函館の歴史に詳しい須藤隆仙氏で、笑いあいの楽しい講演でした。須藤隆仙氏のお話はおもしろいので以前から講演を聞きたいと思っていたという方もたくさんおられました。

函館の名の由来は十五世紀中頃に河野氏が箱状の館を築いたことにちなむ。その函館が活気を帯びてきたのが幕末の開国、開港のころである。欧米各国の領事や商人・宣教師が訪れる等、次第に西洋化の波が押し寄せてきた。函館は明治になって急激に来住者

が増え、随意に住居を構えて街が延長し、道路も狭く曲折も多く、家屋の構造も粗雑だったため、一度火事が発生するとたちまち延焼し、また風も強く大火になることがたびたびあった。とくに悲惨だったのは明治四十年と昭和九年の大火であった。数多くの大火に見舞われながらもこれらに市民が果敢に立ち向かい、挑戦し、受け入れ、取り込んだ「函館らしい」といわれる歴史的風土としての暮らし、建物、町並み、文化、歴史がある。これらを心に受け止め、一人一人の記憶や思いにつながる風景・景観として、ほっとできる街、懐かしい街、親しまれる街、これが函館の



原点であり、ほかにはない新鮮さが魅力である。  
「歴史が築いた函館のまち、ひと」をわが町の宝として、これからも語り継いでいきたいと思います、と締めくくりました。

### 2. バズセッション

(小グループの討議)

テーマ①「趣味・教養・ボランティア

余暇の上手な使い方」

テーマ②「地域のきずなを深めるために」

十名程度の小グループに分かれて、日頃感じていることなど気軽な雰囲気で見聞交換が行われました。グループのリーダーが司会を務め、テーマについて各自が思っていることを話し合いました。参加者からは活発な意見がたくさん出され、一時間三十分の時間で、言い足りないという方もおられました。地域のきずなを深めるためには、まずここに参加した自分たちが、「地域の方々にあいさつをしよう!」という意見をまとめたグループもありました。初めは、あいさつをしてもあいさつが返ってこないかもしれないが、あいさつを続けていくうちにあいさつが返ってくる、そこから、地域のきずなが深まっていくので、グループで話し合ったメンバーだけではなく、皆さんもあいさつ運動をしましょう、と提案しました。

また、別のグループでは、趣味・教養・ボランティアは、暇な時間にするのはなく、いかに時間を上手に使って自分の余暇を過ごすのかを考え、「生きることはまなぶこと」であるという視点から、余暇の使い方を上手に工夫して、自分を高めていくことが必要だ、という意見をまとめました。それぞれが、日頃感じていることを話し合う機会が持てて、とても有意義な時間であった、と参加者からの感想がありました。

◎ 今回のバズセッションは、初めての試みで、生涯学習インストラクターなど生涯学習を積み重ねた方々の日頃の成果を生かす場として、グループリーダーになっていただき、司会を務めていただきました。グループの参加者から行政ではない同じ立場での司会者なので、気軽に話しができて良かった、という声がたくさんありました。また、受付を担当した方々なども生涯学習ボランティアであり、司会を務めたリーダーや生涯学習ボランティアなどから、日頃から活動したいと思っていたので、今回のような生涯学習ボランティアなどを活用する事業が今後増え続けてほしいという要望があり、来年も行ってほしいという意見がたくさんありました。



「まなびの広場」展示のご紹介

四月から七月までに実施しました「まなびの広場」における展示会の内容についてご紹介いたします。

【四月展示会】

ファーマーズバスケット

「ドライフラワーアレンジメント展」

（ローズシャワー）

四月五日（金）～二十九日（月）

ドライフラワーアレンジメント文化の普及を目的としたサークル「ファーマーズバスケット」の会員によるバラを使用したドライフラワーリースやドライフラワーアレンジメントなど三九点を展示し、ドライフラワーの魅力を広く道民に紹介しました。



【五月展示会】

国立日高少年自然の家

「森と遊ぼう！夢の冒険大陸」

五月七日（火）～二十九日（水）

今年で創立二十一年目を迎えた国立日高少年自然の家は、日高山脈や沙流川の至近に立地しており、様々な野外体験活動の拠点として多くの道民の方々に利用されています。

主催事業の写真パネルやネイチャークラフトの展示、活動状況を撮影したビデオなどを放映し、国立日高少年自然の家における活動の様子を広く道民に紹介しました。



【六月展示会】

白老町まなびあいバンク登録者の会

「しらおいまなびのフェスタ」

〇二

六月一日（土）～三十日（日）

立体アートフラワーやガラス絵、版画・油絵など豊かなまちづくりに寄与するために組織された白老まなびあい

バンク登録者の会の作品を展示し、活動状況を広く道民に紹介しました。



【七月展示会】

くりやま生涯学習塾

「くりやま和紙アート作品展」

七月二日（火）～三十日（火）

くりやま生涯学習塾登録者による和紙人形・和紙ちぎり絵四十点を展示し、和紙アートの持つ創造の世界を広く道民に紹介しました。



新会員紹介

次の方が新たに賛助会員になられました。

今後ともよろしくお願いいたします。

個人会員

- 藤井 利一 栗沢町
- 佐々木 由利子 陸別町
- 大崎 一男 江別市
- 成田 直彦 札幌市
- 宮腰 三幸 常呂町

（敬称は省略させていただきます）

事務局からのお願い

- ・会費納入のお願い（賛助会費未納の方は納入方よろしくお願いいたします。）
- ・住所変更について（会員の皆様で住所変更、訂正のある方は事務局までお知らせください。）

編集後記

道民活動センター（かでる2・7）の九階事務所から眺める手稲の山並み、眼下の植物園の緑もうっすらと色があせて見え、初秋の気配がそこに漂っています。

当協会の事業も皆様のご支援のおかげで、各地域で大きな成果を納めております。

今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。